

2022年3月29日

上海でロックダウン開始、東西に分けて9.6時間ずつ封鎖

最近、上海では新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。3月27日の時点で、上海市内で新しく確認された有症状の感染例は50人、無症状感染者は3454人です。

中国では感染拡大に歯止めがかからず、中国国家衛生健康委員会が28日に公表した27日時点の新規市中感染者数は6,215人（無症状含む）で、中国当局が無症状感染者数の公表を始めた2020年3月末以降で最多を更新しました。習近平指導部はこれまで厳格な防疫措置で封じ込める「ゼロコロナ」政策を掲げてきましたが、最大の試練を迎えています。

3月27日夜、上海市当局は記者会見を開催し、新型コロナウイルス感染症の予防と管理のため、3月28日から、市中心部を流れる黄浦江を境に東西二つの区域に分けて、順番にPCR検査を実施することを公表しました。検査の実施期間中は住民の外出を原則禁止とし、地下鉄やバス、タクシーなどの交通機関の運行も停止され、自家用車の運行も禁止されることから、事実上のロックダウン（都市封鎖）に踏み切ることになります。食料や医療など生活に必要不可欠なサービスに従事する関係者を除き、全ての企業の従業員と公務員に対して在宅勤務が求められています。

1. 東部

3月28日午前5時から9.6時間ロックダウンされ、この間に2回のPCR検査を実施する予定です。

2. 西部

4月1日午前3時から9.6時間ロックダウンされ、この間に2回のPCR検査を実施する予定です。

3. 西部の区域内でも感染者が集中した地域

3月28日午前5時から9.6時間、ロックダウンされます。

4. 空港、鉄道、国際旅客および貨物への影響

厳格な閉鎖と管理を実施していますが、空港、鉄道、国際旅客および貨物の輸送は通常どおり行われています。ただし、人流は厳しく制限されています。

5. 自動車輸送への影響

高速道路等の有料道路はすべて一時的に閉鎖され、黄浦江のトンネルの利用も停止されました。上海に出入りする高速道路の管理も強化され、

① 必要であれば上海に来ない、

- ② 必要な時以外、上海を離れない、
- ③ 上海市を離れる必要がある場合は、48時間以内のPCR検査陰性証明書を提示する、という対策がとられています。

6. 弊社上海事務所状況

弊社社員は自宅に隔離されており、在宅で業務を行う状況となっています。

他地域から上海への商品の輸送にある程度の影響が及ぶことが予想され、航空会社のフライトや運送会社のカーゴ便がキャンセルされる可能性も非常に高くなっています。

このため、ATTOの取り扱い製品の出荷が遅延する事態も予想されますので、上海地区以外の出荷に関しましては上海以外の空港、港を経由するルートも検討いたします。

影響のある案件につきましては、個別に担当者よりお伝えいたします。

7. 封鎖解除の見込み

上海市当局の公式発表によると、今回のロックダウンは4月5日に終了する予定で、その後、輸送状況が緩和されると見込まれます。



ロックダウンが始まり、閑散とする上海市内



引き続き情報を収集し、新しい情報を入手しましたら、ご報告させていただきますので、よろしくお祈いします。

以上

《お知らせ》

4月20日（水）～22日（金）に東京ビッグサイトで開催されるCPhI Japan（国際医薬品原料・中間体展）に、今年も出展いたします。

ブース 番号：1H-22 まで、ご来場をお待ちしております。

